

**SPANCRETE**

CORPORATION

株式会社スパンクリートコーポレーション

平成22年3月期第2四半期業績資料





# 会社概要及び沿革

## <会社概要>

本 社	東京都文京区本郷四丁目9番25号
営業所	宇都宮営業所 仙台営業所
工場	宇都宮工場 岩瀬工場
設立	1963年3月
資本金	32億9,589万6,000円
従業員	139名（外派遣社員15名）
事業内容	スパンクリート事業 不動産事業

## <沿革>

1963年	3月	設立 資本金1千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
1964年	2月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
1983年	3月	スパンクリート合成床工法販売開始
1989年	11月	茨城県岩瀬町（現 桜川市）に岩瀬工場完成
1991年	2月	社名を現社名に変更
1991年	9月	株式を公開 日本証券業協会店頭登録（現JASDAQ）
2004年	3月	明星プレテック(株)の株式を100%取得
2005年	5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO9001取得
2006年	3月	プレテック(株)解散
	10月	普通株式1株を2株に分割



# 工場

## 宇都宮工場

生産能力 月産約55,000m<sup>2</sup> (18,608坪)



## 岩瀬工場

生産能力 月産約10,000m<sup>2</sup> (19,642坪)





# 所有賃貸ビル

台東区  
台東オリエントビル



8階建 1,466.4㎡

新宿区  
30山京ビル



8階建 1,887.1㎡

文京区  
駒込スパンクリートビル



9階建 1,621.5㎡





# 経営成績の概要

当第2四半期の業績は、売上高19億8千万円(前年同期比5.8%減)、営業利益9千1百万円(前年同期比21.3%減)、経常利益1億3千万円(前年同期比16.9%減)と減収減益となりました。

## 〈スパンクリート事業〉

主力のスパンクリート事業は、前事業年度からの継続案件の成田高速鉄道や九州新幹線の防音壁の特需等はありませんでしたが、景気減速によるマンションを始めとする建設需要減の影響を受け、売上高は18億4千7百万円(前年同期比6.3%減)と減収となりました。利益面では主要販売施策の「流通倉庫、工場、防音壁等の相対的に粗利益率の良好な壁板拡販へ注力」が一部功を奏し、営業粗利益率は上昇したものの原材料価格が高止まりの中、工場の採算が悪化したこと等から、営業利益1千7百万円(前年同期比67.3%減)と減益となりました。

## 〈不動産事業〉

貸しビル3棟の稼動が好調を持続、大規模改修の償却負担増を吸収して安定収益を計上しており、売上高1億3千2百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益7千5百万円(前年同期比11.3%増)と増収増益となりました。

四半期純利益につきましては、有価証券の減損処理等の特別損失6千7百万円を計上しましたが、5千7百万円の四半期純利益(前年同期比700.1%増)となりました。



# 生産・出荷・売上 数量比較

単位: 千m<sup>2</sup>

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減
生産	332	222	▲110
出荷	314	226	▲88
売上	308	239	▲69



# 比較第2四半期損益計算書

単位:百万円

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減	摘要
売上高	2,101	1,980	▲121	マンション建設需要減の影響もあり減収
売上原価	1,701	1,617	▲84	
一般管理販売費	283	271	▲12	
営業利益	116	91	▲25	
営業外収益	68	45	▲23	
営業外費用	27	6	▲21	
経常利益	156	130	▲26	
特別損益	▲146	▲67	79	株式市況の低迷による有価証券の強制減損処理等の計上
税引前四半期純損益	10	62	52	
法人税等	3	5	2	
四半期純利益	7	57	50	



# 比較第2四半期貸借対照表(資産)

単位:百万円

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減	摘要
流動資産	3,713	3,766	53	
現金及び預金	1,491	1,937	446	
売掛債権	1,292	1,061	▲231	手形は全て期日取立てしております
有価証券	503	536	33	
棚卸資産	352	137	▲215	
その他	75	95	20	
固定資産	6,289	5,749	▲540	
有形固定資産	4,621	4,523	▲98	
建物・機械	1,349	1,290	▲59	
土地	3,114	3,099	▲15	
その他	158	134	▲24	
無形固定資産	17	13	▲4	
投資その他	1,650	1,212	▲438	
投資有価証券	1,374	981	▲393	時価の下落等で減少
その他	276	231	▲45	
資産合計	10,003	9,515	▲488	





# 比較第2四半期貸借対照表 (負債・純資産)

単位: 百万円

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減	摘要
流動負債	1,426	1,192	▲234	
買掛債務	225	151	▲74	支払手形は発行していません
短期借入金	900	725	▲175	
その他	301	316	15	
固定負債	841	812	▲29	
長期借入金	25	—	▲25	
その他固定負債	816	812	▲4	
負債合計	2,267	2,004	▲263	
純資産の部	7,735	7,510	▲225	
資本金	3,295	3,295	0	
資本剰余金	3,710	3,696	▲14	
利益剰余金	1,317	797	▲520	
自己株式	▲281	▲290	▲9	
土地再評価差額金	▲234	77	311	
有価証券評価差額金	▲72	▲66	6	
負債・純資産合計	10,003	9,515	▲488	

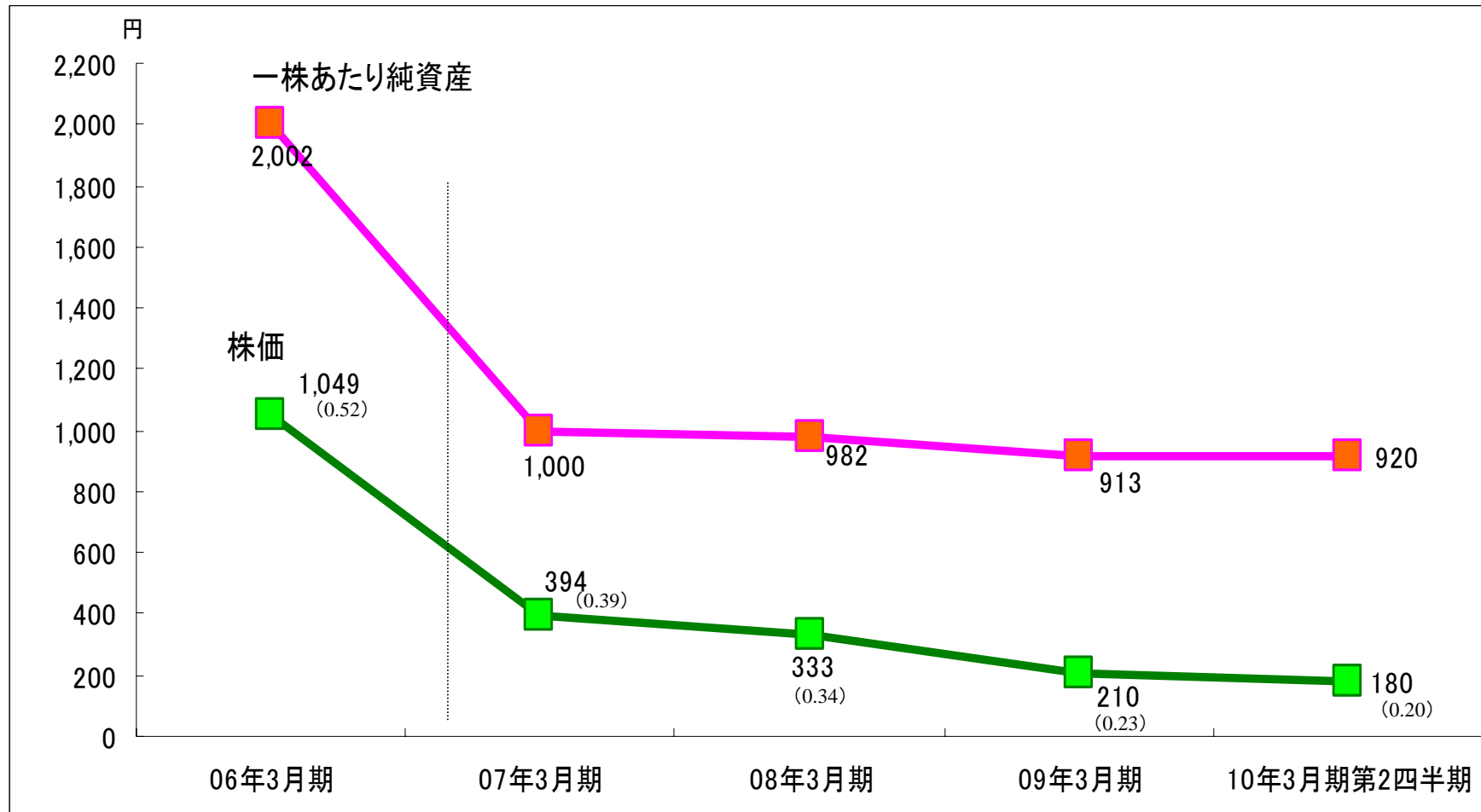


# 中間営業成績及び財政状態

		09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減
営業成績	売上高(百万円)	2,101	1,980	▲121
	営業利益(百万円)	116	91	▲25
	経常利益(百万円)	156	130	▲26
	四半期純利益(百万円)	7	57	50
	1株当たり四半期純損益(円)	0.88	7.01	—
財産の状況	総資産(百万円)	10,003	9,515	▲488
	純資産(百万円)	7,735	7,510	▲225
	1株当たり純資産額(円)	938.53	920.21	—
	自己資本比率(%)	77.3	78.9	
	営業キャッシュフロー(百万円)	▲211	348	—
	投資キャッシュフロー(百万円)	▲6	165	—
	財務キャッシュフロー(百万円)	▲217	▲168	—
	現金同等物残高(百万円)	1,894	2,222	—



# 一株あたり純資産・株価(PBR)推移



06年10月普通株式1株を2株に分割しました



# 主要工事実績

グローリオ蘆花公園	約31,000m <sup>2</sup>
シティタワー有明	約28,000m <sup>2</sup>
シティタワーズ豊洲 ザ・シンボル	約22,700m <sup>2</sup>
(仮称)青海シーサイドプロジェクト	約20,000m <sup>2</sup>
ブルンズタワー南千住	約15,500m <sup>2</sup>
日本梱包運輸倉庫(株)狭山ターミナル営業所	約12,000m <sup>2</sup>
The Kashiwa Tower	約12,000m <sup>2</sup>
(仮称)川越市新清掃センター熱回収施設新築工事	約11,000m <sup>2</sup>
ベルギー大使館建替計画(民間棟)	約 8,000m <sup>2</sup>
ランドポート春日部	約 7,700m <sup>2</sup>



# スパンクリート使用例 マンション・床



江東区豊洲計画



千代田区二番町計画





# スパンクリート使用例 壁・床



コミュニティ施設



体育館



パーキングエリア



店舗





# スパンクリート使用例 ホーム Mスラブ・床



東京都日暮里駅



千葉県成田空港駅



# 10年3月期見通し

単位:百万円

	10年3月期見通し
売上高	3,100
経常利益	105
当期純利益	50

収益確保には相当の努力を要し、ハードルが高いものと認識

